

時代の変化に即応した

迅速かつ的確な市政運営を目指して



薩摩川内市長
岩切 秀雄

平成29年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、相次ぐ大型台風の影響や地震・豪雨などの自然災害が全国各地で発生し、自然の脅威・猛威を痛感した一年でありました。特に、隣県の熊本県において震度7の大地震が連続して発生し、多くの尊い人命が失われたことは記憶に新しいところです。ここに改めて哀悼の意を表し、一日も早い復興を心より祈念申し上げます。

さて、本市の昨年の主な動きを振り返りますと、まず1月に、「消防救急デジタル無線」の運用を開始し、迅速・適切な情報収集・発信が行えるようになりました。

3月には「天辰寺前古墳公園」が開園、また、川内駅に「次世代エネルギー発電設備」も完成しました。

4月には、「産業支援センター」がオープンし、現在、市内の企業などから多くの相談が寄せられています。また、「台湾定期コンテナ航路」の開設やJR九州の「ななつ星in九州」の薩摩高城駅への停車も開始されました。こうした明るいニュースに沸く中、冒頭で触

れた熊本地震が発生しました。本市としても、発生直後より緊急消防援助隊をはじめとする多くの職員の派遣や救援物資・義援金などによる支援を行ったところです。

8月には、入来工業団地(旧富士通跡地)への初の立地企業である(株)バイテックファーム薩摩川内との間で立地協定を締結しました。また昨年は、中国常熟市との友好都市締結25周年でもありましたが、この節目の年に長年の念願であった「港湾貿易および観光促進に関する協力協定」を同月に締結したところであり、今後、両港の貿易促進や市民レベルでの観光交流が図られるものと期待しております。

9月には、「薩摩川内市350(さんごーまる)ベジライフ宣言」を行いました。また、子育て支援の充実を図るため、9月診療分から子ども医療費の助成対象年齢を、15歳から18歳に拡充しました。

11月には、中越パルプ工業(株)と「セルロースナノファイバー(CNF)」商業プラントの立地協定を締結しました。このCNFは、国や産業界が注目する夢の新材料として、今後地域経済の浮揚に貢献できるものと期待し

ております。また、同月には「川内とれたて市場」もオープンしました。

今年、4月に樋脇グラウンドゴルフ場が供用開始されますが、川内駅東口のコンベンション施設、総合防災センター、東郷地域の小中一貫校などの整備をはじめ、子育て支援や高齢者福祉の充実、地域や職場で女性が活躍できる環境整備などにも取り組み、時代の変化に即応した迅速かつ的確な市政運営を進めてまいります。

また、農林漁業の六次産業化、次世代エネルギーを活かしたまちづくり、観光・シティセールスの推進などにも引き続き取り組み、私の市政3期目のまちづくり方針として掲げた4つの基本戦略である「暮らしやすい・誰もが主役になる・活気みなぎる・未来へつながる薩摩川内」の実現を目指してまいります。

最後に、市政全般にわたりまして、本年も皆さまの格別のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。併せて、本年が皆さまにとりまして幸多き一年となりますよう祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

主な出来事

平成28年

このコーナーでは、平成28年1月から12月までにあった主な出来事を、抜粋して掲載します。

Satsumasendai 2016 topics

薩摩川内市 常熟市 港湾貿易・観光協力協定書調印式



本市と常熟市は平成3年に友好都市を締結して25周年を迎え、両市において「港湾貿易及び観光促進に関する協力協定」が締結されました。今後、川内港と常熟港両港の貿易促進と、両市の観光資源を最大限に活用した観光交流につなげます。

Satsuma sendai topics 02

薩摩川内市・常熟市「港湾貿易及び観光促進に関する協力協定締結

Satsuma sendai topics 01

市長および市議会議員選挙を執行



10月23日(日)、任期満了に伴う市長選挙および市議会議員選挙が執行されました。市長選挙には2人が立候補し、岩切秀雄氏が再選。また、市議会議員選挙は、28人の立候補者の中から定数26人の市議会議員が選出されました。11月7日(月)から4年間、本市発展のけん引役として市政を担われます。なお、7月10日(日)に執行された参議院議員選挙から、選挙権年齢が満18歳以上に改正されました。

Satsuma sendai topics 03

熊本地震による緊急消防援助隊出場



4月14日(木)21時26分、4月16日(土)1時25分に、熊本県益城町を震源とする震度7の地震が発生し、薩摩地方でも震度4を観測しました。

この熊本地震後、熊本県(熊本・益城町・南阿蘇村)へ向けて、4次派遣隊まで車両5台、計31人を消防局から派遣し、倒壊家屋や道路調査、救急活動、行方不明者の捜索救助活動などを行いました。また、多くの一般行政職員も派遣し、地震直後の避難所対応などや、市民の皆さんや市内企業などからの救援物資や義援金などによる支援も行いました。

Satsuma sendai topics 04

漁協直営の「川内とれたて市場」オープン



11月11日(金)、川内港ターミナル隣に、農林水産物や特産品の直売所と川内・甕島などでとれた新鮮な地魚を使った食堂「薩摩海食堂」がオープンしました。この「川内とれたて市場」では、甕島で養殖された生の本マグロの限定販売をはじめ、新鮮なブリ、タイ、タカエビ、キビナゴなどの魚介類や地域でとれた野菜、果物も安価で販売されています。